

別紙1 災害廃棄物の事前確認調査結果（野田村新山グラウンド）

1 破砕処理エリアの空間放射線量率 (単位：マイクロシーベルト/時)

地点1	地点2	地点3	地点4	バックグラウンド	目安値
0.03	0.06	0.06	0.03	0.07	バックグラウンドの3倍を超えないこと

2 災害廃棄物の遮蔽線量率 (単位：マイクロシーベルト/時)

災害廃棄物の遮蔽線量率	バックグラウンド遮蔽線量率	災害廃棄物の遮蔽線量率からバックグラウンド遮蔽線量率を差し引いた値	目安値 (差し引いた値)
0.036	0.035	0.001	0.01を超えないこと

※ 遮蔽線量率とは、外部の放射線の影響を低減させるため災害廃棄物を鉛製の遮蔽体内で、廃棄物に接触させて線量率を測定した値。

バックグラウンド遮蔽線量率は、遮蔽体内に廃棄物を入れない状態で測定した値。

3 災害廃棄物の放射性セシウム濃度 (単位：ベクレル/kg)

セシウム134	セシウム137	合計値	目安値
不検出 (3.7)	不検出 (3.4)	不検出	100を超えないこと

※ () は検出限界濃度

4 災害廃棄物のPCB濃度 (単位：ミリグラム/リットル)

PCB濃度	目安値
不検出	0.003以下

※ 検出下限値は、0.0005ミリグラム/リットル

5 選別・破砕処理エリア敷地境界のアスベスト濃度 (単位：本/リットル)

総繊維数濃度	目安値
0.17	10を超えないこと

※ 総繊維数濃度とは、長さ5μm以上、幅(直径)3μm未満の繊維状物質を位相差顕微鏡で計数したもの

測定機関：エヌエス環境(株)

図1 野田村新山グラウンド調査地点

